

# 工作、実験 大好き！

## 東北能開大で学園祭

### 五所川原

五所川原市の東北職業能力開発大学校青森校で2日、学園祭「東日流祭」が開かれた。来校者はプラ板

キーホルダー作りなどの工作体験や科学実験、キャンパス見学を通して物作りの楽しさに触れた。

「おもしろ科学実験」では、液体窒素に花や果物を



液体窒素に入れて凍った風船を観察する子どもたち

入れ様子を観察した。液体窒素から出る白い煙に子どもたちは興味津々。風船を入れると見る見るしほみ、出すとまた膨らんで元に戻っていく様子が歓声が上がった。加藤律稀君（五所川原小1年）は「風船がカチコチになったのが不思議だった。自分でもいつか実験してみたい」と笑顔を見せた。

このほか、ブラックライトを当てて紫外線を可視化する実験や、風船を真空状態にして変化を観察する実験も行われた。

翼や胴体に好きな模様を描き、組み立てるオリジナル飛行機作りは親子連れで大にぎわい。柳澤結菜さん（五所川原市中央小1年）は「工作大好き。ハートの模様を描いた」と満足げに話した。

伊勢崎浩之校長は「物ができていく過程や楽しみを知って興味を持つきっかけになればうれしい」と語った。（小泉結香）

※この画像は、当該ホームページに限って  
東奥日報社が利用を許可したものです。